

令和3年度 第4回 横浜市民間資金等活用事業審査委員会 議事録	
日 時	令和3年12月7日（火）11時00分～12時30分
開 催 場 所	横浜市研修センター 604・605号室
出 席 者	委員：齋藤真哉委員長、原悦子委員、山口直也委員、黒石匡昭委員、吉田育代委員 政策局共創推進室（事務局）：吉原課長、石原課長補佐 ほか
欠 席 者	なし
開 催 形 態	非公開
次 第	1 議事 (1) 令和2年度横浜市PFI事業進捗状況等の確認について（審議） (2) その他
議 事 概 要 （ 要 旨 ）	<p>(1) 令和2年度横浜市PFI事業進捗状況等の確認について（審議） 事務局からの、資料1-1、資料1-2、資料1-3の説明に基づき、審議を行った。</p> <p>○委員：資料1-1「北部汚泥資源化センター消化ガス事業」において、『契約上必須では無いが、モニタリング実施計画書を作成することが望ましいとの意見が監査人よりあったため、横浜市と事業者間での合意に基づいたモニタリング実施計画書を令和4年度より運用できるよう作成する』とあるが、元々モニタリングの定めは無かったのか。</p> <p>●事務局：モニタリングの規定自体はあるが、初期のPFI事業のため、後発のPFI事業に比べるとしっかりとした枠組みが無かった。近年の事業では、モニタリング実施計画を策定することとしている。</p> <p>○委員：新型コロナウイルス感染症の拡大により、利用者収入のある事業は減収が見込まれるが、計画値に比べてそれほど差の無い事業もある。何故か。</p> <p>●事務局：休館や短縮営業を市が要請していた施設は、市からの補填金額を含んでいると考えられる。</p> <p>○委員：市の補填金額を含む金額は、事業者単体の売上とは別途で出すべきである。現状の計算方法だと、計画値を達成できているということしか分からず、実態が掴めない。また、補填を行っている事業に関しては利用状況も整理すべき。</p> <p>●事務局：来年度はその点を整理して資料を作成する。今年度についても、補填を行っている事業については整理し、後日回答する。</p> <p>○委員：PFI事業内の食堂等は、独立採算で運営が厳しいという話も聞いているが、今後も現状の整理のまま、支援策等は入れないという考えか。継続に懸念が見られるのではないか。</p> <p>●事務局：食堂の閉鎖を要請した際には使用料金の免除等があったが、契約上、独立採算事業に対する支援策はない。PFI事業の建付けの中で指定管理施設があれば、そこに対しての支援は入れている。</p> <p>○委員：新型コロナウイルス感染症の拡大という、契約時点では想定できなかった事が起きている。新しい対応を個々の事業で考える必要があるだろう。いかに変化を受け止めながら、事業の継続性の観点から市が歩み寄りを見せるかが重要だと考える。</p>

	<p>○委員：新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた時に、事業の形態や計画は現状のままで良いのか。利用者からの需要も変わっていくことが見込まれる。今後の対応について検討は行っているか。</p> <p>●事務局：公会堂でのオンライン環境の整備等を進めている。</p> <p>○委員：オミクロン株等が発生している事からも、今後の状況変化は逐次注視し、柔軟に対応していただきたい。</p> <p>○委員長：新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は一部確認できるものの、影響を受けた一部事業者に対して市からの支援もあり、概ね順調に事業が進捗していることを確認した旨を本委員会からの答申としたい。また、経常的なモニタリングを行いつつ、社会状況に応じた事業の変更に柔軟な対応をするように努めるべきという意見を付帯する。なお、答申書については、私の方で事務局に作成させ、各委員に御確認いただくこととする。</p> <p>(2)その他 特になし。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
資 料	<p>1 資料</p> <p>(1) 会議 次第</p> <p>(2) 委員名簿</p> <p>(3) 委員会 運営要綱</p> <p>(4) 諮問文</p> <p>(5) 資料 1-1 : 確認調書 要約【進捗状況・財務状況・所管局による評価など】</p> <p>(6) 資料 1-2 : 確認調書 要約【財務状況推移】</p> <p>(7) 資料 1-3 : 確認調書 要約【修繕費累計額】</p> <p>(8) 資料 2 : 横浜市 PFI 事業進捗状況等確認調書 (11 事業分)</p>